

目標人口・チャレンジ3評価シート(R5 実績)

令和5年度 チャレンジ3達成度

子どもの笑顔が
輝くまち

- | | |
|-----------|---------|
| ①自己実現できる | 達成度*** |
| ②将来の夢が描ける | 達成度89.5 |
| ③学校が楽しい | 達成度83.8 |

大人の充実が
満ちるまち

- | | |
|----------|---------|
| ①自己実現できる | 達成度90.6 |
| ②人とのつながり | 達成度100 |
| ③働く場所がある | 達成度100 |

シニアが益々
成熟するまち

- | | |
|---------------|---------|
| ①自己実現できる | 達成度100 |
| ②社会とのつながり | 達成度100 |
| ③自分のことが自分でできる | 達成度98.3 |

多様性の
あるまち

- | | |
|---------------|---------|
| ①関係人口が増える | 達成度58.0 |
| ②副業・兼業している | 達成度98.2 |
| ③障がい者が社会とつながる | 達成度89.2 |

成長するまち

- | | |
|--------------|---------|
| ①住みやすい社会インフラ | ※達成度100 |
| ②安定した財政基盤 | 達成度100 |
| ③安心できる防災減災 | 達成度81.2 |

目標人口			社会増減数			合計特殊出生率			出生数			婚姻件数		
目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度
12,736	12,618	99.1	7	△42	0	1.66	1.57	94.5	81	79	97.5	40	29	72.5

子どもの笑顔が
輝くまち

大人の充実が
満ちるまち

シニアが益々
成熟するまち

多様性の
あるまち

成長するまち

自己実現できる

頑張っている・前向きに取り組む小学校児童、生活が充実している中学校生徒の割合 (%)

目標77→実績 無し
※設問の廃止

自己実現できる

生活が充実していると回答する人の割合 (%)

目標77.5→実績70.2
達成度90.6

自己実現できる

生活が充実していると回答する人の割合 (%)

目標73.3→実績76.3
達成度100

関係人口が増える

認証制度 (たかもりボンズ) 認証者数 (人)

目標200→実績116
達成度58.0

住みやすい
社会インフラ

- ①情報インフラ整備の進捗状況 (%)
- ②まちづくりに町民の意見が届きやすい人の割合 (%) R4まで
- ③「町への意見の届きやすさ」を不満と感じていない町民の割合 (%) R5

- ①目標87.0→実績93.3 達成度100
- ②目標60.4→実績 - ※指標変更
- ③目標 - →実績73.2 達成度 -

将来の夢が描ける

児童・生徒が「自分の将来の夢」を持っている割合 (%)

目標79.9→実績71.5
達成度89.5

人とのつながり

普段の生活の中で、人とのつながりがあると回答する人の割合 (%)

目標41.0→実績53.9
達成度100

社会とのつながり

普段の生活の中で、人とのつながりがあると回答する人の割合 (%)

目標70.0→実績78.3
達成度100

副業・兼業している

副業・兼業している人の割合 (%)

目標22.0→実績21.6
達成度98.2

安定した財政基盤

- ①将来負担比率 (%)
- ②実質公債費比率 (%)
- ③町民税額(個人・法人)(千円)

- ①目標95.0→実績35.5 達成度100
- ②目標13.0→実績8.3 達成度100
- ③目標654,500 →実績719,313 達成度100

学校が楽しい

学校が楽しいと回答する児童・生徒の割合 (%)

目標87.8→実績73.6
達成度83.8

働く場所がある

女性就業率 (%)

目標70.0→実績83.0
達成度100

自分のことが
自分でできる

80歳以上の要介護認定率 (%) ※低いと達成

目標35.6→実績36.2
達成度98.3

障がい者が社会と
つながる

障がいがある人もない人も地域において共生が進んでいると思う人の割合 (%)

目標56.0→実績50.0
達成度89.2

安心できる防災・減災

メール配信等により町から防災の情報を受け取れる人の割合 (%)

目標60→実績48.7
達成度81.2

評価：A（評価 80 点以上） B（評価 79 点から 60 点） C（評価 59 点から 30 点） D（評価 29 点以下）

(総務課)		基本目標：目標人口					
(1)成果指標		高森町人口（人）					
指標の詳細		長野県毎月人口異動調査（10 月分）。国勢調査の年度は国勢調査数値。※R2 年度数値は R2 国勢調査確定値（12,811 人）に修正。R2 年度評価時は速報値（12,814 人）。					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		13,080	12,889	12,838	12,787	12,736	12,685
なりゆき値			12,868	12,802	12,736	12,670	12,604
実績値			12,811	12,769	12,750	12,618	
評価			99.4	99.5	99.7	99.1	
評価			A	A	A	A	
(2)評価分析	プラス要因						
	マイナス要因	前年度比△132 社会増減（R4.11-R5.10）は△21と前年度同期間の+85から大きく減少 自然増減（R4.11-R5.10）は△100と前年度同期間の△106とほぼ同じ					
(3)指標の変更の有無							

(産業課)		I 社会増減数					
(1)成果指標		社会増減（転入者数－転出者数）（人）					
指標の詳細		長野県毎月人口移動調査 市町村別移動状況の内、社会増減数（転入－転出）にその他増減数を加えたもの。例年 3 月中旬頃、長野県が公表。					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		-44	8	8	8	7	7
実績値			30	15	103	-42	
評価			100	100	100	0	
評価			A	A	A	D	
評価							
(2)評価分析	プラス要因	不足する労働力を補う外国人研修生の増が見られる。					
	マイナス要因	前年度比△145 社会増減 △42（日本人△60 外国人 18） 20 歳から 34 歳の転出者が多い。（R5 224 名）					
(3)指標の変更の有無							

(健康福祉課)		II 合計特殊出生率					
(1)成果指標		合計特殊出生率（%）					
指標の詳細		健康福祉課健康係が把握している合計特殊出生率（1～12 月の合計・年間）					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		1.46	1.61	1.63	1.65	1.66	1.68
実績値			1.18	1.71	1.65	1.57	
評価			73.3	100	100	94.5	
評価			B	A	A	A	
評価							
(2)評価分析	プラス要因						
	マイナス要因	35 歳以上の出生数の減（R4 33 人⇒R5 23 人 ▲10 人） 第 1 子出産年齢の晩産化					

(3)指標の変更の有無	
-------------	--

(健康福祉課)		Ⅲ 出生数					
(1)成果指標		出生数 (人)					
指標の詳細		健康福祉課健康係が把握している出生数 (人) (1~12月の合計・年間)					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		79	85	83	82	81	80
実績値			63	87	87	79	
評価			74.1	100	100	97.5	
評語			B	A	A	A	
(2)評価分析	プラス要因						
	マイナス要因	35歳以上の出生数の減 (R4 33人⇒R5 23人 ▲10人) 第1子出産年齢の晩産化					
(3)指標の変更の有無							

(健康福祉課)		Ⅳ 婚姻件数					
(1)成果指標		婚姻件数 (件)					
指標の詳細		健康福祉課戸籍住民係が把握している婚姻件数 (戸籍事件表 婚姻の内、届出計の数値。4月~3月の合計)					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		35	40	40	40	40	40
実績値			37	26	31	29	
評価			92.5	65.0	77.5	72.5	
評語			A	B	B	B	
(2)評価分析	プラス要因						
	マイナス要因	新ながの結婚マッチングシステム登録者数の減 (R4 10人/R5 6人)					
(3)指標の変更の有無							

評価：A（評価 80 点以上） B（評価 79 点から 60 点） C（評価 59 点から 30 点） D（評価 29 点以下）

(総務課)		重要項目ア 子どもの笑顔が輝くまち					
(1)成果指標		0～14 歳人口の構成率(%)					
指標の詳細		長野県毎月人口異動調査（10 月分）の市町村別年齢各歳別人口の内、0～14 歳の年齢構成比率（R1 年度のみ基礎数値はH27 年度国勢調査数値）。					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		14.5	15.3	15.2	15.1	15.0	14.9
なりゆき値			15.1	15.0	14.9	14.8	14.7
実績値			14.0	13.8	13.7	13.2	
評価			91.5	90.8	90.7	88.0	
評語			A	A	A	A	
(2)評価分析							
	プラス要因						
	マイナス要因	人数は R4 1,729 人から R5 1,660 人へ 69 人減少。出生数は 79 人（△8 人）、15 歳になった子との人数の差。					
(3)指標の変更の有無		無し					

(教育委員会事務局)		I 自己実現できる					
(1)成果指標		頑張っている・前向きに取り組む小学校児童、生活が充実している中学校生徒の割合 (%)					
指標の詳細		全国学テ「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか」にて、「1.当てはまる、2.どちらかといえば当てはまる」と回答した全小学生・中学生の平均値。					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		75.3	76.0	76.5	77.0	77.5	78.0
なりゆき値			75.3	75.3	75.4	75.4	75.5
実績値			70.9	71.7	74.3	-	
評価			93.3	93.7	96.5	-	
評語			A	A	A	-	
(2)評価分析							
	プラス要因	R5（R6 実施の全国学調）において、設問項目が無し。・学校評価アンケートで、唯一、挑戦について問うているのは、南小のみ。「自分を高めよう（挑戦）としているか？」よくあてはまる 50%、だいたいあてはまる 43%					
	マイナス要因						
(3)指標の変更の有無		次回から、まちづくりアンケートの小中学生の中で把握していくことが望ましい					

(教育委員会事務局)		Ⅱ 将来の夢が描ける					
(1)成果指標		児童・生徒が「自分の将来の夢」を持っている割合 (%)					
指標の詳細		全国的な学力調査（全国学力・学習状況調査等）「あなたは、将来の夢や目標を持っていますか」。全小学生・中学生の平均値。					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		79.5	79.6	79.7	79.8	79.9	80.2
なりゆき値			79.5	79.5	79.6	79.6	79.7
実績値			72.7	76.8	71.2	71.5	
評価			91.3	96.4	89.2	89.5	
評語			A	A	A	A	
(2)評価分析	プラス要因	しごと未来フェアや地域人材教育、JFA 夢の教室などの事業にて、子どもたちが夢や目標を持つ大切さに気付いている。					
	マイナス要因	小学生が 80%を超えるが、中学生は 60%。別指標でも中学生は学校が楽しいと感じるのは 6 割。受験等が目の前にあるため、将来まで描くことが難しいと思われる。					
(3)指標の変更の有無		無し					

(教育委員会事務局)		Ⅲ 学校が楽しい					
(1)成果指標		学校が楽しいと回答する児童・生徒の割合 (%)					
指標の詳細		全国的な学力調査（全国学力・学習状況調査等）「あなたは、学校が楽しいと思いますか。」全小学生・中学生の平均値。→R2 から小中学校町民アンケート。					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		87.5	87.6	87.6	87.7	87.8	88.0
なりゆき値			87.5	87.5	87.6	87.6	87.7
実績値			83.7	90.8	81.1	73.6	
評価			95.5	100	92.5	83.8	
評語			A	A	A	B	
(2)評価分析	プラス要因	4 月の全国学調では、82.7%（小中学校平均）。なお、上記アンケートも全国学調と同条件の回答者のみで数値を把握すると 83.6%。					
	マイナス要因	中学生は小学生と比較すると数値が低い。その理由の多くは「勉強が苦手」「授業が楽しくない」との理由が大半を占める。					
(3)指標の変更の有無		無し					

評価：A（評価 80 点以上） B（評価 79 点から 60 点） C（評価 59 点から 30 点） D（評価 29 点以下）

(総務課)		重要項目イ 大人の充実が満ちるまち					
(1)成果指標		15～64 歳人口の構成率 (%)					
指標の詳細		R 元年度数値は H27 年度国勢調査。長野県毎月人口異動調査（10 月分）市町村別年齢各歳別人口の内、15～64 歳の年齢構成比率。					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		53.8	52.4	52.2	52.0	51.9	51.7
なりゆき値			52.3	52.0	51.8	51.7	51.5
実績値			53.3	53.2	53.3	53.6	
評価			100	100	100	100	
評語			A	A	A	A	
(2)評価分析	プラス要因						
	マイナス要因						
(3)指標の変更の有無		無し ※R01 時点では割合は減少していく見込みであったが、この 5 年間ほぼ横ばい。成り行き値、計画値の見直しは必要。					

※R4 6755 人 R5 6718 人

(教育委員会事務局)		I 自己実現できる					
(1)成果指標		生活が充実していると回答する人の割合(%)					
指標の詳細		町民生活意識アンケート調査。「あなたは、今の暮らしや仕事、社会活動や趣味などで、生きがいを持って生活していますか」。10～60 歳代。					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		66.9	76.0	76.5	77.0	77.5	78.0
なりゆき値			75.3	75.3	75.4	75.4	75.5
実績値			72.1	69.6	70.0	70.2	
評価			94.9	91.0	91.0	90.6	
評語			A	A	A	A	
(2)評価分析	プラス要因	18-19 歳代は 100%。20 歳代、30 歳代、50 歳代も 7 割を超えている。					
	マイナス要因	一方で、40 歳代 62.8%、60 歳代 65.4%であり、ネガティブな「あまりそう思わない」「そう思わない」は 40 歳代は 27.9%、60 歳代 26.5%と 4 人に 1 人が生きがいを持たずに生活していると読み取れる。					
(3)指標の変更の有無		無し					

(総務課)		Ⅱ 人とのつながり					
(1)成果指標		普段の生活の中で、人とのつながりがあると回答する人の割合 (%)					
指標の詳細		町民生活意識アンケート調査。「あなたは、仕事を除く普段の生活の中で、学びやスポーツ、趣味、まちづくり活動への参加等で、人とのつながりがありますか」に対し、18歳～60歳代の「月1回以上ある」との回答割合。					
年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画値		37.0	38.0	39.0	40.0	41.0	42.0
なりゆき値			37.0	37.0	37.0	36.5	36.5
実績値			42.1	36.0	38.4	53.9	
評価			100	92.3	96.0	100	
評語			A	A	A	A	
(2)評価分析	プラス要因	令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類感染症となり、陽性者及び濃厚接触者の外出自粛が求められなくなった。					
	マイナス要因						
(3)指標の変更の有無		無し					

R5 262/486=53.9

(産業課・税務会計課)		働く場所がある					
(1)成果指標		女性就業率 (%) ※女性の就業率から、地域全体の働きやすさを推測する					
指標の詳細		現状ではライフステージに合わせ多様な働き方の選択肢が必要となることから、女性の就業が確保されることは地域内の働く場所の充足が図られている指標と捉える。女性就業率：給与収入がある女性数（7月把握）／18～64歳女性人口（6月30日時点。日本人・外国人の合計。）2,169人／3,220人（5年毎国勢調査と確認）					
年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画値		65.8	67.0	68.0	69.0	70.0	71.0
なりゆき値			66.0	66.5	67.0	67.5	68.0
実績値			69.2	69.6	67.4	83.0	
評価			100	100	97.7	100	
評語			A	A	A	A	
(2)評価分析	プラス要因	新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変わり、依然として有効求人倍率は1倍を超えており、企業の雇用意欲は高く、地域内で働く場所は確保されている。指標の増加は、給与所得者である女性が496人増加したことによる。					
	マイナス要因						
(3)指標の変更の有無							

評価：A（評価 80 点以上） B（評価 79 点から 60 点） C（評価 59 点から 30 点） D（評価 29 点以下）

(健康福祉課)		重要項目ウ シニアが益々成熟するまち					
(1)成果指標		65 歳以上（第 1 号被保険者）の要介護認定率（%）※低いと達成					
指標の詳細		（介護保険認定者数／65 歳以上人口）×100					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		15.1	15.1	15.3	15.6	15.8	16.0
なりゆき値			15.4	15.7	16.0	16.3	16.7
実績値			15.2	15.5	15.4	15.9	
評価			99.3	98.7	100	99.3	
評語			A	A	A	A	
(2)評価分析	プラス要因	認定率は、県平均 17.1%より低い水準。利用者、家族を含めアセスメントを実施、早い段階での適切なケアマネージメントができています。					
	マイナス要因						
(3)指標の変更の有無		無し					

(教育委員会事務局)		I 自己実現できる					
(1)成果指標		生活が充実していると回答する人の割合（%）					
指標の詳細		町民生活意識アンケート調査。「あなたは、今の暮らしや仕事、社会活動や趣味などで、生きがいを持って生活していますか」。70 歳代以上。					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		73.9	72.4	72.7	73.0	73.3	73.6
なりゆき値			72.1	72.1	72.2	72.2	72.3
実績値			73.5	76.4	71.9	76.3	
評価			100	100	98.5	100	
評語			A	A	A	A	
(2)評価分析	プラス要因	コロナも落ち着き、シニア大学生も R4：54 人から R5:70 人へ。高齢者世代の活動が復活している傾向が伺える。					
	マイナス要因	一方で、シニア大学の構成主体であった地域ごとのシニアクラブが減少している。					
(3)指標の変更の有無		無し					

(健康福祉課)		Ⅱ 社会とのつながり					
(1)成果指標		普段の生活の中で、人とのつながりがあると回答する人の割合 (%)					
指標の詳細		町民生活意識アンケート調査。「あなたは、仕事や趣味、友人との付き合い・地域行事等、普段の生活の中で、人との付き合いがありますか」。70歳代以上で月1回以上あると答えた方の割合。					
年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画値		66.1	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
なりゆき値			69.5	69.0	68.5	68.0	67.5
実績値			75.1	75.5	74.9	78.3	
評価			100	100	100	100	
評語			A	A	A	A	
(2)評価分析	プラス要因	地域サロン、各地区・分館等の行事などが従前どおり開催された。町主催の地域ケア会議、人生会議等へも多くの参加があり、意識の高まりがある。地域サロン開催数 R元/51・R2/10・R3/16・R4/14・R5/36					
	マイナス要因						
(3)指標の変更の有無		無し					

(健康福祉課)		Ⅲ 自分のことが自分で出来る					
(1)成果指標		80歳以上の要介護認定率 (%) ※低いと達成					
指標の詳細		(介護保険認定者数/80歳以上人口) ×100					
年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画値		35.2	35.3	35.4	35.5	35.6	35.7
なりゆき値			35.4	35.6	35.8	36.0	36.2
実績値			34.1	34.8	34.8	36.2	
評価			100	100	100	98.3	
評語			A	A	A	A	
(2)評価分析	プラス要因	要支援、要介護1の認定者が増。早い段階での認定により、サービスを活用し介護度があがらないよう介護フレイル予防等に取り組んだ。					
	マイナス要因						
(3)指標の変更の有無		無し					

評価：A（評価 80 点以上） B（評価 79 点から 60 点） C（評価 59 点から 30 点） D（評価 29 点以下）

	重要項目Ⅰ 多様性のあるまち
--	-----------------------

(産業課)		I 関係人口が増える					
(1)成果指標		認証制度（たかもりボズ） 認証者数（人） ※R3 から変更					
指標の詳細		町独自のする認証制度において高森町の関係人口として認定した人数。たかもりボズ（=Bonds;絆）として認証している数 高森町のファン・または高森町に貢献したいと表明して下さった方をたかもりボズとして認定し、直接の訪問のほか町に関する情報の 2 次発信や独自発信が期待される人の数として捉える。					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		-	-	50	100	200	300
なりゆき値			-	43	50	55	60
実績値			-	43	98	116	
評価			-	86.0	98.0	58.0	
評価			-	A	A	C	
(2)評価分析	プラス要因						
	マイナス要因	新たに町の情報を訴求するにはより多様なチャンネルが必要となる。一方でこれまでつながりを築いてきた関係に行動制限を挟んだことで生じた空白を埋める時間を要する。					
(3)指標の変更の有無		無し					

(産業課)		Ⅱ 副業・兼業している					
(1)成果指標		副業・兼業している人の割合 (%)					
指標の詳細		町民生活意識調査「本業の仕事の他に何らかの兼業や副業での収入を得ていますか？」					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		21.6	5.5	21.0	21.5	22.0	22.5
なりゆき値			5.0	20.0	20.0	20.0	20.0
実績値			19.0	20.2	21.1	21.6	
評価			100	96.2	98.1	98.2	
評語			A	A	A	A	
(2)評価分析	プラス要因	新型コロナウイルスが2類から5類に変わり、多様な働き方が定着したことにより、時間を活用し減収を抑える副業も許容されつつある。本業にとっても副業での経験が有用と考えられているのではないか。					
	マイナス要因						
(3)指標の変更の有無		無し					

(健康福祉課)		Ⅲ 障がい者が社会とつながる					
(1)成果指標		障がいがある人もない人も地域において共生が進んでいると思う人の割合 (%)					
指標の詳細		町民生活意識アンケート調査。「あなたは、障がいのある人もない人も、職場や地域で一緒に活動したり、過ごしたりすることができていると思いますか」。そう思う、どちらかと言えばそう思うと答えた方の割合。					
年度		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
計画値		52.4	53.0	54.0	55.0	56.0	57.0
なりゆき値			53.0	53.0	53.0	53.0	53.0
実績値			47.3	50.8	44.6	50.0	
評価			89.2	94.1	81.1	89.2	
評語			A	A	A	A	
(2)評価分析	プラス要因	福祉係講師によるあいサポート研修（27人参加）を実施。車いすバスケット体験会、まるごと収穫祭での車いす体験を実施。					
	マイナス要因	役場内の研修、養護学校職場体験等は実施したが、各企業等への働きかけは未実施。					
(3)指標の変更の有無		無し					

評価：A（評価 80 点以上） B（評価 79 点から 60 点） C（評価 59 点から 30 点） D（評価 29 点以下）

	重要項目オ 成長するまち
--	---------------------

(総務課)		I 住みやすい社会インフラ					
(1)成果指標		①情報インフラ整備の進捗状況 (%) ②まちづくりに町民の意見が届きやすいと回答する人の割合 (%) R4まで ③「町への意見の届きやすさ」を不満と感じていない町民の割合 (%) R5から					
指標の詳細		①総務省が発表する都道府県別の長野県の5G人口カバー率(発表年度数値)(R4から) ②町民生活意識アンケート「あなたは、高森町の行政サービスや取り組みに、町民の意見が届きやすいと思いますか」。(R4年度評価まで) ③町民生活意識アンケート「町への意見の届きやすさ」を不満と感じていない町民の割合(満足度5段階で3以上 R5年度評価から)					
年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画値	①0	-	-	-	83.0	87.0	90.0
	②31.5	57.4	58.4	59.4	59.4	60.4	61.4
	③-	-	-	-	-	-	-
なりゆき値		-	-	-	83.0	87.0	90.0
		56.4	55.4	55.4	55.4	54.4	54.4
		-	-	-	-	-	-
実績値		-	-	-	82.8	93.3	
		29.3	26.9	27.9	27.9	-	
		-	-	-	-	73.2	
評価		-	-	-	99.8	100	
		51.0	46.1	46.1	46.1	-	
		-	-	-	-	-	
評語		-	-	-	A	A	
		C	C	C	C	-	
		-	-	-	-	-	
(2)評価分析	プラス要因	①国全体の5Gカバー率は、デジタル田園都市国家インフラ整備計画の目標を1年前倒しで達成。 ②③調査内容を変更したため単純比較はできない。直接的な環境整備ではないが、町HPのリニューアル(10月)、LINE友達キャンペーン(12月～2月)などで、意見を前提町の情報を届ける					
	マイナス要因						
(3)指標の変更の有無							

(総務課・税務会計課)		Ⅱ 安定した財政基盤					
(1)成果指標		①将来負担比率(%) ②実質公債費比率(%) ③町民税額(個人・法人)(千円)					
指標の詳細		①②財政健全化法に基づく県への報告値(例年8月)。全国統一の数値。数値が低いほど達成。③個人町民税と法人町民税の合計(現年分と滞納分の決算)。					
年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画値		①77.1 ②11.0 ③658,700	80.0 11.0 664,400	90.0 11.0 661,100	100.0 12.0 657,800	95.0 13.0 654,500	90.0 12.5 654,500
なりゆき値			97.4 11.0 664,000	101.7 10.4 661,000	100.0 13.7 657,000	104.2 13.7 654,000	100.0 13.4 651,000
実績値			43.9 7.9 671,312	31.3 7.2 662,959	30.6 8.1 676,698	35.5 8.3 719.313	
評価			100 100 100	100 100 100	100 100 100	100 100 100	
評語			A A A	A A A	A A A	A A A	
(2)評価分析	プラス要因	③個人住民税は所得金額の増、法人住民税は均等割額の増。					
	マイナス要因						
(3)指標の変更の有無							

(総務課)		Ⅲ 安心できる防災・減災					
(1)成果指標		メール配信等により町から防災の情報を受け取れる人の割合(%)					
指標の詳細		(メール配信の登録者数+R3~町公式LINE登録者数)/15~64歳年齢。※実際に受信できる人のみをカウント					
年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画値		0.0	25.0	50.0	55.0	60.0	65.0
なりゆき値			0	37.7	40.0	45.0	50.0
実績値			12.7	26.0	26.7	48.7	
評価			50.8	52.0	48.5	81.2	
評語			C	C	C	B	
(2)評価分析	プラス要因	令和5年12月から令和6年2月まで公式ライン友達キャンペーンを実施。期間中の登録者数1,473人(ブロック含む)で、登録者はキャンペーンまでのほぼ倍になった。					
	マイナス要因	エリアメールの充実により、安心メール配信は令和5年度末で廃止とすることとなり新規登録者の周知は実施していない。					
(3)指標の変更の有無							

$$R4(561+1308)/7012*100=26.7$$

$$R5(564+2846)/7005*100=46.7$$